

独立行政法人

# 国立国際医療研究センター病院

National Center for Global Health and Medicine  
http://www.ncgm.go.jp/

発行 連携医療ネット

住所 東京都新宿区戸山1-21-1

代表 TEL 03-3202-7181

FAX 03-3207-1038

地域医療連携室

直通 TEL 03-3202-8066

FAX 03-3202-1003



## 連携医療NEWS

Vol.28 9月号

### 副院長あいさつ

副院長

原 徹 男



平成26年4月1日付で副院長を拝命した原徹男と申します。私は昭和58年3月に東京大学医学部を卒業、同年5月に高倉公朋教授（当時）主宰の脳神経外科学教室に入局いたしました。すぐに三井記念病院の研修医となり、その後茨城県立中央病院、総合会津中央病院、東京都立豊島病院、諏訪中央病院と6年間で5つの関連病院を回り、ひたすら脳神経外科の知識と技術を習得すべく研鑽を積んで参りました。そして卒後7年目の平成元年5月に東京大学医学部附属病院に戻り同年8月には脳神経外科専門医を取得いたしました。幸いにも平成3年4月から米国ハーバード大学マサチューセッツ総合病院脳神経外科学教室に留学の機会を得ることができ、主として脳腫瘍の遺伝子解析やマウスのNF2遺伝子のクローニングなどの研究に携わりました。留学中には他大学の研究者と知り合う機会も多く、当時築いた人脈は今でも私にとって何物にも代えがたい宝物となっています。平成6年1月より再び三井記念病院に戻り、平成7年4月より当センターに奉職、同年9月には東京大学で博士号を取得、今日に至っております。当センターでの在籍期間が今年で20年目となり、まさに“光陰矢の如し”を実感している次第です。この間平成12年1月に脳神経外科医長、平成24年4月に総長特任補佐を拝命いたしました。

#### 内 容

- ・副院長あいさつ・・・・・・・・・・・・・・・・・・1
- ・高度生殖医療センター開設の御案内・・・・・・・・2  
旬の味覚
- ・当センターにおける胃癌治療・・・・・・・・・・3
- ・連携登録医のご紹介・・・・・・・・・・・・・・・・4

私の副院長としての担当は国際医療展開、広報、JCI等で、いずれも当院の発展には欠くことのできない領域ですが、現在私が最も力を注いでいるのは、JCI認証の取得であります。JCIとは、Joint Commission Internationalの略で、医療の安全と質及びその継続的な改善手段を評価する国際的な医療評価機構のことです。国際標準の指標をもとにした審査の妥当性や有効性が高く評価されており、その源流は1917年ハーバード大学医学部外科のコールドマン教授が自らの診療行為の評価を第三者に仰ぎたいとの発案にはじまります。JCIは各国のトップ2%の病院に認証を与えるとされており、これまでに世界50余りの国で664の医療施設が認証を取得していますが、国内ではまだ10施設に留まります（2014/8/18現在）。当センターは2010年に独立行政法人化、DPCの導入、新入院棟の完成、2012年に特定機能病院取得、2014年に新外来棟の完成と、この数年間で誰もこれまでに経験したことのない大変革期を迎えております。医療の質と安全の面においても国際標準を満たすbest hospitalを目指し、JCI認証を2015年度中に受審予定としています。認証取得のためには、病院職員が一丸となって院内の環境整備を行い、約1200の評価項目にわたる病院運営及び患者管理の基本方針を確立しなければなりません。非常に大変な作業になることは疑いようありませんが、これを遂行することにより、今まで以上に患者の皆様から信頼され、職員が誇りをもって働くことのできる職場を目指しております。医療連携も重要な評価項目で、連携医の先生方におかれましてはこれまで以上に忌憚のないご意見やご助言を賜れば幸いです。今後とも何卒よろしくお願い申し上げます。

# 高度生殖医療センター開設の御案内

## 産婦人科診療科長

矢野 哲



当院産婦人科では周産期、生殖・内分泌、婦人科悪性腫瘍、女性ヘルスケアの各4分野を総合的・機能的にみる医療を推進しており、現在、全分野の専門医がそろっています。特に、最近では腹腔鏡下手術・子宮鏡下手術に力を入れています。連携医療施設の皆様からの御紹介もともに増えており、ここに厚く御礼申し上げます。間もなく、婦人科悪性腫瘍手術に対しても腹腔鏡下手術・ロボット手術を導入する予定です。

さて、この度8月より一般不妊治療のみならず難治性不妊症に対する体外受精-胚移植、抗がん剤治療前の未受精卵・精子凍結までを取り扱う高度生殖医療センターを開設しました。私は昭和62年に東京大学医学部附属病院産科婦人科において、研究テーマとしていた体外受精-胚移植を臨床ベースで開始しました。当時日本では、体外受精は私どもを含めて片手の指の数ほどの大学病院で行われているだけでした。時は流れ、東大病院で共に研鑽を積んできた専門医達が、ここ新宿区に結集し不妊治療を展開していくこととなりました。不妊症の大きな原因として、子宮内膜症や子宮筋腫などが挙げられます。近年、結婚年齢の高年齢化とともに子宮内膜症・子宮筋腫を合併する不妊症患者さんが急増しています。そのような患者さんに対して、私どもは腹腔鏡下手術・子宮鏡下手術により病巣を最小の侵襲で迅速・的確に取り除き妊娠しやすい環境を整えますが、高い確率で手術後間もなく自然妊娠します。しかし、手術後1年を経過し一般不妊治療にても妊娠に至らない場合や年齢が38歳を越えている場合には、最終手段として体外受精-胚移植をお勧めしています。不妊症の原因の半数を占める男性因子が認められる場合は、顕微授精や精巣内精子採取法を行います。

さらに特筆すべきこととして、当院は地域周産期母子医療センターに指定されており、正常妊娠・分娩のみならず合併症のある特殊な妊娠・分娩の管理も手掛けています。すなわち、腹腔鏡下手術を含め様々な不妊治療を経て妊娠された方に対して、主治医としてそのままサポートを継続していくことができます。万が一の緊急帝王切開にも迅速に対応し、出生児の管理のために新生児集中治療室(NICU)が完備されています。このように、当院では高度生殖医療センターの開設により、卵子から高齢期まで女性の全ライフステージをサポートする体制が整いました。

さらに特筆すべきこととして、当院は地域周産期母子医療センターに指定されており、正常妊娠・分娩のみならず合併症のある特殊な妊娠・分娩の管理も手掛けています。すなわち、腹腔鏡下手術を含め様々な不妊治療を経て妊娠された方に対して、主治医としてそのままサポートを継続していくことができます。万が一の緊急帝王切開にも迅速に対応し、出生児の管理のために新生児集中治療室(NICU)が完備されています。このように、当院では高度生殖医療センターの開設により、卵子から高齢期まで女性の全ライフステージをサポートする体制が整いました。



## 旬の味覚 **なすのトマトソース** スパゲティ

### ★作り方

- ①にんにくはみじん切り、赤とうがらしは輪切りにし鍋でオリーブオイル大さじ1杯で炒めます。香りが出てきたら、トマト水煮を丸ごと、ローリエ、砂糖を加えます。木べらでトマトをつぶし、時々、かき混ぜながら、とろっとするまで煮詰めます。
- ②なすは5mmの厚さの輪切りにし、鶏肉は細切りにし、塩・こしょう少々をふっておきます。しその葉はせん切りにし、水にさらして、水気をきります。
- ③スパゲティは塩を加えた熱湯で茹でます。
- ④フライパンにオリーブオイル大さじ1杯を熱し、なすの両面を焼きます。なすを取り出し、続けて鶏肉を炒めます。鶏肉をトマトソースの鍋に入れ、3分程度煮込み、塩で味をととのえます。
- ⑤ゆでたてのスパゲティに④の鶏肉を加えたトマトソースをかけ、なすとしそをのせます。

### 管理栄養士

神谷 しげみ



### ★材料 2人前

- (1人分 エネルギー 459kcal、塩分 1.8g)
- ・スパゲティ(乾) 140g
  - ・塩 大さじ1 (スパゲティのゆで塩)
  - ・なす 1個
  - ・鶏もも肉(皮なし) 60g
  - ・塩 少々
  - ・こしょう 少々
  - ・しその葉 4枚
- <トマトソース>  
トマト水煮大1缶(400g)  
にんにく 1片  
赤とうがらし 1/2本  
オリーブオイル 大さじ1  
ローリエ 1枚  
砂糖 小さじ1  
・オリーブ油 大さじ1  
・塩 小さじ1/2



# 当センターにおける胃癌治療

## 上部消化管外科医長

### 山澤 邦宏



国立国際医療研究センター 上部消化管外科グループは胃疾患を中心に悪性・良性を問わず外科治療を必要とする疾患を専門に治療を行っております。上部消化管外科グループにおける昨年の定時手術は95件、関与した緊急・臨時手術は142件と1年間で計237件の手術に関与いたしました。もちろん、外科治療以外の方法で治療していく場合も多くありますが、手術を含めた治療方針は外科単独で決定するのではなく、消化器内科、腫瘍内科、病理部、放射線診断科、放射線治療科、緩和ケア科、そして上部消化管外科が必ず週1回の合同カンファレンスを行い、様々な面から検討し、個々の治療方針を決定しております。

また、手術時には、（大きな総合病院ではありますが）他科との連携がスムーズにとれるという当センターならではの特徴があり、心疾患・呼吸器疾患・脳神経疾患・腎疾患・内分泌疾患などなどの併存疾患を有するリスクの高い患者様に対しても他科と協力し合い、積極的にそして安全に治療が行えます。

胃癌治療においても、前述のごとく症例検討を十分に行い、内視鏡治療（ESD,EMR）、腹腔鏡下胃切除術、開腹胃切除術を選択しております。根治性はもちろんQOLを重視した術式として腹腔鏡下胃切除術は傷が小さく侵襲も少なく患者様からもご評価をいただいております。同様にQOLを重視した術式として（胃の上部と幽門輪を温存する）腹腔鏡下幽門保存胃切除術や

（胃の下部を温存し、胃の切除した部分に空腸を有茎移植する）腹腔鏡下噴門側胃切除+空腸間置なども積極的に行っております。また、GIST(間葉系腫瘍)などの胃悪性疾患においては、腹腔鏡下胃部分切除を単孔式（臍部の1つの孔だけで行う手術）にも行い根治性と整容性を保った手術を心がけております。



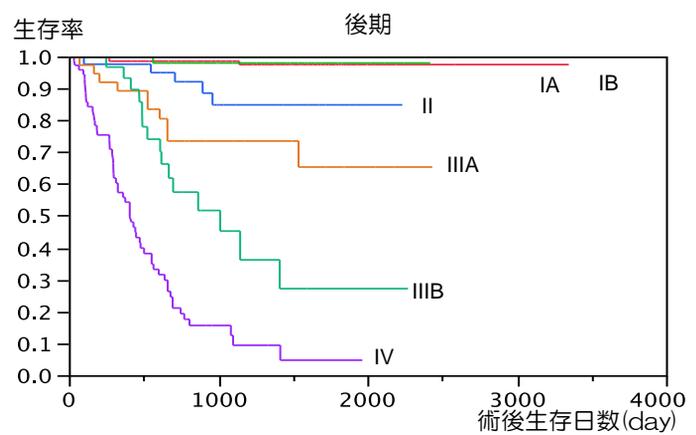
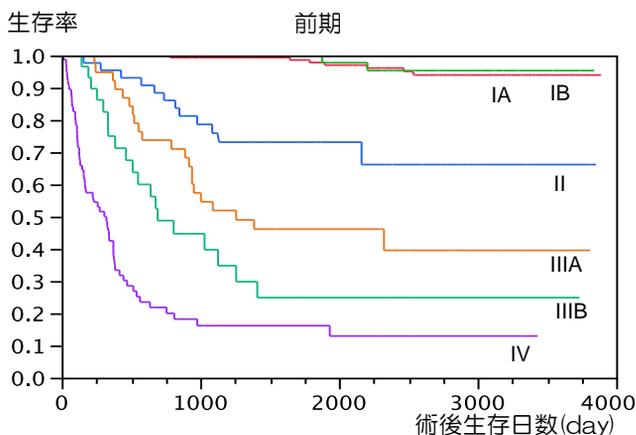
以上の様に我々は、侵襲をなるべく少なく、そして良好な治療成績を保つことを心がけ胃癌治療に当たっております。近年の当センターでの胃癌治療成績を前期(1997-2001年)、後期(2002年以降)に分けて検討すると明らかに後期が成績良好となっており、また全国平均を上回っているのがわかります。今後もさらに患者様のためにそしてそのご家族様のために精進していきたいと思っております。

一方、切除不能な胃癌においても、決してあきらめることなく化学療法の組み合わせの工夫だけでなく、手術や臨床研究なども取り入れ、積極的に治療を行っております。しかしそれでも治療不能な場合、患者様・ご家族と相談の上、疼痛コントロール・経口摂取を可能にする処置(手術・内視鏡下ステント留置など)などによりQOLを少しでも高める努力をしております。

以上、国立国際医療研究センター 上部消化管外科の特徴を紹介させていただきました。ありがとうございました。

## 当センターにおける胃癌術後stage別時期別生存率(Kaplan-Meier法)

前期:1997-2001年、後期:2002年以降 (※ 症例の関係上、胃癌取り扱い規約13版で比較)



# 連携登録医のご紹介

## フィオーレ健診クリニック

院長 伊賀 大二郎 先生



診療科  
住所  
電話  
FAX  
ホームページ  
受付時間  
休診日  
交通

健診、人間ドック、内科  
新宿区新宿7-26-9  
03-3200-0034 (医療連携室)  
03-5962-0802  
<http://www.k-fiore.jp/>  
月曜日～金曜日 8:15～16:15  
土曜日(不定期)・日曜日・祝日  
都営大江戸線・東京メトロ副都心線  
東新宿駅より徒歩1分

当健診クリニックは平成18年に東京社会保険協会直営の健診施設として設立されました。「くつろぎと安らぎ」をテーマに、皆様に快適にそして安全に健診を受診していただけるよう努めております。また医療連携室を設置し、健診に対する不安や疑問、健診結果に対する問い合わせなどにも幅広く対応しております。



平成22年には、「健診着姿を男性に見られたくない」などの女性の声に配慮して女性専用フロアを開設いたしました。女性専用フロアでは医師や技師をはじめスタッフ一同全て女性です。さらに受診中にお子様をお預かりする保育室も設置しており、子育て中の方でも受診しやすいよう配慮しています。また健診終了後にくつろいでいただけるようラウンジを設けており、飲み物などをご用意しております。もちろん保育室もラウンジも無料でご利用いただけます。

国立国際医療研究センターをはじめとする近隣の医療機関とも連携させていただいており、治療や精密検査が必要となった方をご紹介しております。特に国立国際医療研究センターは地理的にも近く、当健診クリニックに国立国際医療研究センターに在籍していた医師が勤務していることもあり今後よりいっそう緊密な連携をしていこうと考えております。

当健診クリニックは都営大江戸線、東京メトロ副都心線の東新宿駅から徒歩1分と交通至便なところにあります。受診者の増加に対応して、女性専用フロアはこの8月に地下1階に移転しさらに広く快適にリニューアルいたしました。



地下1階には女性専用のラウンジも開設しております。また9月からは男性フロアを2フロアとし、計3フロアの体制で稼働しています。

受診者の方が快適に健診を受けられるよう、また疾病の予防および早期発見の最前線として職員一同日々奮闘努力しております。今後ともどうぞよろしくお願い申し上げます。

外来診療時間 8:30～17:15

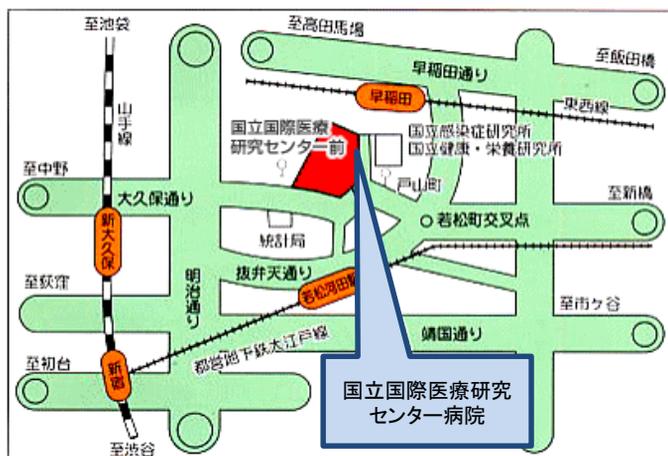
・初診受付 紹介状が無い場合 8:30～11:00  
紹介状が有る場合 8:30～14:00

ただし、形成外科、産婦人科、神経内科、整形外科、精神科、リハビリテーション科の6科および結核(疑いも含む)については「11時までの受付」となっています。

・休診日 土・日・祝日・年末年始

### アクセス

- ・都営地下鉄 大江戸線「若松河田駅」より徒歩5分
- ・東京メトロ 東西線「早稲田駅」2番出口より徒歩15分
- ・JR大久保駅又は新大久保駅より都営バス「新橋」行 国立国際医療研究センター前 下車
- ・新宿駅西口より都営バス「医療センター経由女子医大」行 国立国際医療研究センター前 下車



独立行政法人

国立国際医療研究センター病院

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1  
TEL 03-3202-7181 FAX 03-3207-1038 ホームページ <http://www.ncgm.go.jp/>

